1

[千葉大]

双曲線 $x^2-y^2=1$ ……①の漸近線 y=x ……②上の点 $P_0:(a_0, a_0)$ (ただし $a_0>0$) を通る双曲線①の接線を考え、接点を Q_1 とする。 Q_1 を通り漸近線②と垂直に交わる直線と、漸近線②との交点を $P_1:(a_1, a_1)$ とする。次に P_1 を通る双曲線①の接線の接点を Q_2 、 Q_2 を通り漸近線②と垂直に交わる直線と、漸近線②との交点を $P_2:(a_2, a_2)$ とする。この手続きを繰り返して同様にして点 $P_n:(a_n, a_n)$ 、 Q_n を定義していく。

- (1) Q_n の座標を a_n を用いて表せ。
- (2) $a_n \, \epsilon \, a_0 \, \epsilon \, \Pi$ いて表せ。
- (3) $\triangle P_n Q_n P_{n-1}$ の面積を求めよ。

1

「千葉大〕

(1) 双曲線 $x^2 - y^2 = 1 \cdots$ ①上の点 $Q_n(b_n, c_n)$, その漸近線 $y = x \cdots$ ②上の点 $P_n(a_n, a_n)$ に対して,

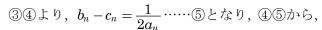
$$b_n^2 - c_n^2 = 1$$
, $(b_n + c_n)(b_n - c_n) = 1 \cdots 3$

点 Q_n を通り、漸近線②に垂直な直線は、

$$x + y = b_n + c_n$$

この直線が $P_n(a_n, a_n)$ を通ることより、

$$2a_n = b_n + c_n \cdots$$



$$b_n = \frac{1}{2} \left(2a_n + \frac{1}{2a_n} \right) = a_n + \frac{1}{4a_n}, \ c_n = \frac{1}{2} \left(2a_n - \frac{1}{2a_n} \right) = a_n - \frac{1}{4a_n}$$

よって、 $Q_n\left(a_n+\frac{1}{4a_n},\ a_n-\frac{1}{4a_n}\right)$ である。

(2) 点 Q_n における①の接線は、(1)から、 $\left(a_n + \frac{1}{4a_n}\right)x - \left(a_n - \frac{1}{4a_n}\right)y = 1$

この接線が点 $P_{n-1}(a_{n-1}, a_{n-1})$ を通るので,

$$\left(a_n + \frac{1}{4a_n}\right)a_{n-1} - \left(a_n - \frac{1}{4a_n}\right)a_{n-1} = 1, \frac{1}{2a_n}a_{n-1} = 1$$

よって、 $a_n = \frac{1}{2}a_{n-1}$ となり、 $a_n = a_0\left(\frac{1}{2}\right)^n$ である。

(3) $\triangle P_nQ_nP_{n-1}$ は $\angle P_{n-1}P_nQ_n=90^\circ$ の直角三角形であり、

$$P_{n-1}P_n = \sqrt{2}(a_{n-1} - a_n) = \sqrt{2}(2a_n - a_n) = \sqrt{2}a_n$$

$${
m P}_n {
m Q}_n = \sqrt{\left(\,a_n + rac{1}{4a_n} - a_n\,
ight)^2 + \left(\,a_n - rac{1}{4a_n} - a_n\,
ight)^2} \, = \sqrt{rac{1}{8a_n^{\,\,2}}} = rac{1}{2\sqrt{2}a_n}$$

よって、
$$\triangle P_nQ_nP_{n-1} = \frac{1}{2} \cdot \sqrt{2}a_n \cdot \frac{1}{2\sqrt{2}a_n} = \frac{1}{4}$$
 である。

[解 説]

漸化式の双曲線への応用問題です。煩わしい計算の多い 2 次曲線としては、計算量は少なめです。

